



つくばみらい市

議会だより

第11号

平成21年2月19日
発行



平成20年第4回定例会を
開催しました。

平成20年度青少年育成市民会議 谷原支部「らっこまつり」もちつき大会 (谷原小体育館)

主な内容

平成20年第4回定例会(12月)

◎平成20年第4回定例会は、12月4日から12日までの9日間の会期で開催しました。

◎第4回定例会では、条例の一部を改正する条例9件、補正予算6件、その他7件(請願4件)の計22件の議案が提出されました。各議案について、常任委員会に付託され、慎重な審議を行いました。

もくじ

・ 議案の概要 P.2

・ 一般質問 P.7

発行：つくばみらい市議会／編集：議会広報特別委員会

〒300-2492 つくばみらい市加藤237番地 TEL 0297-58-2111 (代表) FAX 0297-20-5760

URL <http://www.city.tsukubamirai.lg.jp> Eメール gikai01@city.tsukubamirai.lg.jp



会期・日程

● 12 月

4 日 (木) 本会議
開会

会期の決定
議案の上程及び説明
一般質問

5 日 (金) 本会議
一般質問

8 日 (月) 本会議
一般質問
議案に対する質疑
議案の委員会付託

9 日 (火) 常任委員会
総務常任委員会
教育民生常任委員会

10 日 (水) 常任委員会
経済常任委員会

12 日 (金) 本会議
委員長報告、質疑、討論、
採決
閉会中の継続調査(議
運・広報)
閉会

平成 20 年 12 月 第 4 回定例会 議決一覧表

議案番号	議 案 名	議案の概要	結 果
議案第 76 号	つくばみらい市政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例	地方自治法の一部改正に伴い、法改正部分を引用する部分について、所要の改正を行う必要から、条例の一部を改正するものです。(当市では、議員発議により交付されていない)	原案可決
議案第 77 号	つくばみらい市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例	平成 21 年度の固定資産の評価替えに伴い、書記の人数を増やし、事務局の体制を強化することを目的に、条例の一部を改正するものです。	
議案第 78 号	つくばみらい市認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	地方自治法の一部改正に伴い、認可地縁団体(行政区・自治会など)に関する規定が改められたことから、条例の一部を改正するものです。	
議案第 79 号	つくばみらい市特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例	地方自治法の一部改正により、「報酬等」が「議員報酬等」に変更となったため、条例の一部を改正するものです。	
議案第 80 号	つくばみらい市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	地方自治法の一部が改正され、議員の報酬に関する規定の整備が行われたことに伴い、報酬の名称を「議員報酬」とするため、条例の一部を改正するものです。	
議案第 81 号	つくばみらい市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	地方自治法の一部改正により、法の引用条文が繰り下げとなったことなど、条例の一部を改正するものです。	
議案第 82 号	つくばみらい市税条例の一部を改正する条例	地方税法の一部が改正されたことに伴い、個人の市民税の寄附金税額控除の対象となる特定寄附金に該当する条件を、市内に主たる事務所を有する団体又は法人とするために、条例の一部を改正するものです。	



議案番号	議 案 名	議案の概要	結 果
議案第 83 号	つくばみらい市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	国民健康保険税の納期を 7 月からに変更するために、条例の一部を改正するものです。	原案可決
議案第 84 号	茨城県後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議について	広域連合の議会議員の定数を 22 人から各市町村議会から選出の 44 人にするなど、広域連合規約を変更するため、協議するものです。	
議案第 85 号	取手地方広域下水道組合規約の変更について	取手市の区域の下水道使用料について、茨城県南水道企業団が水道料金と一括して算定し徴収することに伴い、協議するものです。	
議案第 86 号	字の区域の一部変更及び設定について	当区域は、長年にわたり「北山」という集落名による一体的な生活圏を形成していながら、仁左衛門新田、福岡、台の大字が混在しており、また、ほかに位置する仁左衛門新田集落との混同も起こりやすいことから、これらの問題を解消するため、大字名を「北山」に変更統一するものです。	
議案第 87 号	平成 20 年度つくばみらい市一般会計補正予算（第 3 号）	歳入歳出それぞれ 5 千 451 万 4 千円を追加し、予算の総額を 139 億 8 千 94 万 4 千円とするものです。	
議案第 88 号	平成 20 年度つくばみらい市国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）	歳入歳出それぞれ 9 千 481 万 8 千円を追加し、予算の総額を 43 億 8 千 369 万 4 千円とするものです。	
議案第 89 号	平成 20 年度つくばみらい市介護保険特別会計補正予算（第 2 号）	歳入歳出それぞれ 87 万 9 千円を追加し、予算の総額を 21 億 3 千 65 万 7 千円とするものです。	
議案第 90 号	平成 20 年度つくばみらい市公共下水道事業特別会計補正予算（第 2 号）	歳入歳出それぞれ 1 千 3 万 3 千円を追加し、予算の総額を 14 億 4 千 338 万 4 千円とするものです。	
議案第 91 号	平成 20 年度つくばみらい市農業集落排水事業特別会計補正予算（第 2 号）	歳入歳出それぞれ 41 万 2 千円を追加し、予算の総額を 2 億 4 千 228 万 8 千円とするものです。	



議案番号	議 案 名	議案の概要	結 果
議案第 92 号	つくばみらい市国民健康保険条例の一部を改正する条例	健康保険法施行令の一部改正に伴い、産科医療補償制度に加入する医療機関で出産した場合の出産育児一時金について、これまでの 35 万円に 3 万円を超えない額を加算して支給できるようにするため、条例の一部を改正するものです。	原案可決
議案第 93 号	平成 20 年度つくばみらい市一般会計補正予算（第 4 号）	歳入歳出それぞれ 8 千 461 万 8 千円を追加し、予算の総額を 140 億 6 千 556 万 2 千円とするものです。	
発議第 10 号	地方議会議員年金制度に関する意見書	国策によって進められた平成の市町村合併が原因で、市町村合併以降に議員年金受給者が急増し、市議会議員共済会の平成 19 年度決算は、200 億円を超す単年度赤字であり、今後も積立金が減少していく非常に厳しい財政状況となっていることから、国において特段の措置を講じるよう、内閣総理大臣などへ意見書を提出するものです。	
発議第 11 号	教育予算の拡充を求める意見書	教育予算を国全体として、しっかりと確保・充実させる必要があるため、 1. きめ細かい教育の実現のために、第 8 次公立義務教育諸学校教職員定数改善計画を策定すること。 2. 義務教育費国庫負担制度を堅持すること。 3. 学校施設整備費、就学援助・奨学金など教育予算の充実のため、地方交付税を含む国の予算を拡充すること。 4. 教職員の人材確保のため、教職員給与の財源を確保・充実すること。 について、内閣総理大臣などへ意見書を提出するものです。	
発議第 12 号	ミニマムアクセス米の輸入停止を求める意見書	トウモロコシ、大豆、小麦、米などの国際相場が急騰し、輸入穀物を原料とする食品や飼料価格等が値上がりして国民生活に重大な影響をもたらしている中、国民に需要のないミニマムアクセス米が輸入され、一方では米の生産調整が拡大・強化されていることから、ミニマムアクセス米の輸入停止を求めて、内閣総理大臣などへ意見書を提出するものです。	
発議第 13 号	ミニマムアクセス米穀の輸入に関わる見直しの意見書	政府が工業用に用途を限定して売却したミニマムアクセス事故米穀を、民間業者が食用に転売した事件を受け、政府にミニマムアクセス米のあり方の検証と、輸入見直しを求め、農林水産大臣・茨城県知事へ意見書を提出するものです。	原案可決



番号	請願・陳情名	結果
請願第4号	ミニマムアクセス米の輸入停止を求める請願	不採択
請願第6号	ミニマムアクセス米穀の輸入に関わる見直しの請願	採択
請願第7号	教育予算の拡充を求める請願	
請願第8号	常総地方広域市町村圏事務組合が建設を予定しているキルン式ガス化溶融施設に対する請願	不採択
陳情第9号	後期高齢者医療制度の廃止等に関する要請書	全議員及び執行部に配付しました
陳情第10号	現行保育制度の堅持・拡充と保育・学童保育・子育て支援予算の大幅増額を求める意見書提出を求める陳情書	

【発議第10号関係】

地方議会議員年金制度に関する意見書

地方議会議員の年金制度については、地方議会議員互助年金法に基づき昭和36年に任意の互助年金制度として発足し、翌37年に地方公務員共済組合法により強制加入とされ、その後、数次の改正を経て現在に至っている。この間、退職議員やその遺族に対し、年金や一時金が支給され、その生活の安定に大きな役割を果たしている。

昨年の4月には、掛金の引き上げ、年金給付の引き下げなどの法改正がなされたところであるが、市議会議員共済会においては平成19年度決算においても200億円を超す単年度赤字となり、今後も継続的な損失金が見込まれ、積立金が減少していく非常に厳しい財政状況となっている。

その最大の要因は、国策によって進められた平成の市町村合併の影響を議員年金財政が受けたことにある。市町村合併特例法では、このような市町村合併の推進に伴う影響について「議員共済会の運営状況を勘案し、その健全な運営を図るため必要な措置を講ずるものとする」とされ、同法に基づく特例措置も図られたところではあるが、法改正後の収支の状況を見ると、合併の影響に対する措置は不十分である。

現行の掛金率や市町村の負担金率は既に高水準にあることや、市町村合併以降に年金受給者が急増し、「市議会議員1人が3人の受給者を支える」構造になっていることなどを踏まえると、市町村合併の影響額に見合う特例措置などの国の支援なくしては議員年金制度の維持は大変困難な状況にあるといわざるを得ない。

よって、国においては、早急な抜本的見直しの必要に迫られている地方議会議員年金制度に対し、上記の事情を勘案の上、特段の措置を講じることを強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成20年12月12日

茨城県つくばみらい市議会

(提出先) 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 総務大臣



【発議第11号関係】

教育予算の拡充を求める意見書

子どもたちに豊かな教育を保障することは、社会の基盤作りにとってきわめて重要なことである。

現在、多くの都道府県で、児童生徒の実態に応じ、きめ細かな対応ができるようにするために、少人数教育が実施され、保護者や子どもたちから大変有益であるとされている。

しかし、厳しい地方財政の状況や地方交付税削減の影響などから、自治体独自の少人数教育を推進することや学校施設整備などには限界がある。

教育は未来への先行投資であり、子どもたちがどこに生まれ育ったとしても、ひとしく良質な教育が受けられるようにする必要がある。

よって、政府においては、教育予算を国全体として、しっかりと確保・充実させるため、次の事項を実現されるよう、強く要望する。

記

1. きめ細かい教育の実現のために、第8次公立義務教育諸学校教職員定数改善計画を策定すること。
2. 義務教育費国庫負担制度を堅持すること。
3. 学校施設整備費、就学援助・奨学金など教育予算の充実のため、地方交付税を含む国の予算を拡充すること。
4. 教職員の人材確保のため、教職員給与の財源を確保・充実すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成20年12月12日

(提出先) 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 総務大臣 茨城県つくばみらい市議会 財務大臣 文部科学大臣

【発議第13号関係】

ミニマムアクセス米穀の輸入に関わる見直しの意見書

今般、三笠フーズ(株)、(株)浅井および太田産業(株)等が、政府が工業用に用途限定して売却したミニマムアクセス米の事故米穀を食用に転売していたという極めて悪質な行為が発覚しました。

食の安全に対する国民の信頼を守るべき政府は、残留農薬やカビ等によって汚染され、人体に悪影響を及ぼしかねない事故米穀について、徹底した横流れ防止対策を措置することが当然であるにもかかわらず、長年にわたって食用に転売されていたという事実が明らかとなっており、危機管理体制が極めて不十分であったと言わざるを得ません。

つきましては、ミニマムアクセス米の今後の取扱い等について、次の事項の実現を求めます。

記

1. 政府は、食料の自給率向上、食の安全確保、事故米穀流通を完全に防止する観点から、ミニマムアクセス米のあり方の検証を十分に行い、戦略的かつ柔軟な制度を確立し輸入に関わる見直しの検討をすること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成20年12月12日

(提出先) 農林水産大臣 茨城県知事 茨城県つくばみらい市議会



●海老原議員 去る20年5月14日、朝8時前後、小張地区のある農家の方が、屋敷内の竹やぶの払ったあとの枯れ枝を自分の田んぼへ運び、火をつけたところ燃え上がった。それを目撃した方から火災の通報が消防署に入り、消防車3台が出勤

火災予防上の市民の指導について

海老原 弘 議員

したが、消防では、消火活動をするほどの問題はないと判断し、危険が無いように伝え、帰ったとの報告を得ている。しかし、その後に常総警察署は、その方を書類送検した。野焼きは禁止されていることはいえ、住民の方の50万円の罰金支払いを、市当局は知っているのか。知っていたのであれば、どういう指導をしていたのかをお伺いし

たい。●市民経済部長 火災の件は、消防署より確認しているが、罰金については確認していなかった。廃棄物の焼却については、生活環境の保全を推進するために法改正が行われ、農業者が行う焼き畑や畦畔等の焼却、あるいは庭の落ち葉を除去禁止されており、このことは広報紙19年8



「不法投棄・野外焼却」の禁止をお知らせしたチラシ

聴き

ききたい

定例市議会における一般質問の要旨を掲載します。

知し

りたい

市政

一般質問

(要旨)

月号・20年2月号でお知らせし、昨年2月には、各世帯にチラシを配布し啓蒙を行っている。(掲載以外の質問事項)

☆ コミュニティセンターの運営について

みらい平駅、小絹駅を快速停車駅に

堤 實 議員

●堤議員 是非、市内活性化のために、関鉄の小絹駅とTXのみらい平駅の快速停車を実現したい。TX全体では、1日平均26万人の利用であるが、みらい平駅は2千300人と少ない。

21年の丘陵部2期工事完了に向け、快速停車駅になれば強烈なインパクトを与え、イメージアップにつながる。通勤快速は都市毎に設定すべきで、小絹駅も利用者は少なく、ハードルは高く難しいと思うが、粘り強く折衝してほしい。市としての取り組み姿勢、長年かけても実現するという決意があればありがたい。市の威信にかけても是非お願いしたいと思うが、所見を伺いたい。

●都市建設部長 みらい平駅が快速の停車駅になれば、市全体の付加価値も高くなり、丘陵部のまちづくりがより促進されると考える。しかし、現在の快速停車駅は北千住から秋葉原駅までを除き、すべて他の路線との乗換え駅に停車し、現状では難しい面がある。現在市では、関係都市と連携し東京駅延伸を要望しているところである。小絹駅については、6分かかる2駅先の守谷駅の利用者がほとんどである



が、快速停車によって短縮はそれほど凶れないと確認している。

●市長 東京駅乗り入れ要望について、県内では守谷市・つくば市と共同で行っている。その中でのみらい平駅への快速停車は、つくば市への相談が必要である。また、関鉄にしても、合併前、小絹を通過するだけで負担金の要求があり、更に沿線でない旧藤代町も負担をしている経過から、経営は厳しいと見られ、努力はしていくが今すぐに解決する問題ではないと考える。

(掲載以外の質問事項)

☆ 職員定数の削減について



関東鉄道常総線「小絹駅」

市民にとって解りやすく 関心のもてる決算報告 について

秋田 政夫 議員

●秋田議員 つくばみらい市が誕生して3年目を

迎えている。合併前の一般住民調査で一番関心の高かったことは、58.4%を占めた「税金が高くなる、負担が増えるのではないか」といったことである。また、中学生の意識調査でも、同じく2番目に高い関心があった。市の広報に「家計簿」としての決算報告概要が掲載されているが、市民にとって財政を理解するには大変難しい表現ではないかと感じられる。財政報告に際しての具体的な評価や財政判断指標、前年度との比較、あるいは人口割りによる歳入、歳出、債務費について、次世代を担う中学生でも理解できるように表現方法を考えられたいだろうか。

●総務部長 行政が市民の皆様に分かりやすい決算等の公表方法を考えることは、納税者である皆様に対する当然の義務であると考えます。今後は、

県広報において一般会計決算書の公表の際に家庭で使われている言葉に言

い換えている例などを参考とし、これまでの公表内容に加え、誰が見ても分かりやすい表現や、例示の方法を研究して参りたい。

(掲載以外の質問事項)

☆ 小学生外国語教育活動に対する方向性について

行政評価制度の確立と 予算編成への連携について

中山 栄一 議員

●中山議員 取手市では、経済状況悪化に伴い法人市民税が約12億円の減収予想となり、特別職の期末手当や役職手当の

カット、事業の一部凍結そして財政調整基金の取り崩しにより乗り切っていくとのことである。当市の今年度の法人市民税は、約7億4千万円を予算計上しているが、減収は避けられない状況で、今後数年間は経済状況の好転は望めず、早急に事業の見直し再編が必要である。そのためには、評価基準に基づいた的確な事業評価が必要であり、更に評価結果を事業運営、予算編成に反映させるシステム作りこそが、自治体に課せられた大きな課題である。今日の財政危機でも、市民に満足いただける行政運営を行うためにも、市民の評価を取り入れた行政評価制度の確立が急がれるが如何か。

●市長 行政評価については、18年度より制度の導入を準備して今年度から本格導入し、評価の実施を始めた。導入することにより事業の必要性、有効性、効率性、公共性、

成果などを十分吟味して、



新型インフルエンザの備えについて

岡田 伊生 議員

実施すべき事業を的確に選択し実行していく制度を確立して参りたい。

●**総務部長** 行政評価の目的は、事業の情報公開及び説明責任の向上、企画、計画、評価、改善の政策形成のプロセスを通じた質の高い行政の実現を図ることであるが、今後、評価過程において明らかにした様々な課題を検証し、また、先進地や近隣市町村の行政評価等も参考にしながら、将来的には施策評価を確立していきたいと考える。

●**岡田議員** 決定的な抗体ワクチンが無く、極めて毒性の強い新型インフルエンザが、今後、世界中に爆発的感染を引き起こす可能性が予想され、大規模災害と同様な対応策を市町村が行う必要があるといわれている。各自治体でも具体的対応策が検討、実施されているが、当市においては①職員の共通理解の確立と、いざという時の連携体制の確立について②住民に対する予備知識と予防について③幼・保・小中学校の指導について、どのような対策がとられ、また、検討されているか伺いたい。加えて、予防と子育て支援から、守谷市が今年から実施した幼児及び小中学生のインフルエンザ予防接種助成が、当市にも必要と考えるが、市長並びに部長のご所見を伺いたい。

●**保健福祉部長** 新型インフルエンザへの対応としては、全庁的に職員の認識の共有化を図るため、研修会等を実施した

市内循環バスアンケート結果の状況とスクールバスについて

坂 洋 議員

い。また、市民に対する予備知識と予防については、今後、継続的に広報紙やパンフレット等により周知を図りたい。なお、幼・保・小中学校の指導については、保健所、医師会等と合同で研修会を実施したいと考える。

●**市長** 子供達へのインフルエンザ予防接種の効果については、その有効性に限界があるという研究者からの指摘がなされている状況である。中学生までの助成については、守谷市がその有効性をどのように検証したかを確認し、その上で判断したい。

●**坂議員** コミュニティバスのルート見直しのアンケートが8月に実施されたが、現在の程度作業が進んでいるのか伺いたい。また、下校途中の女子中・高生が、車の中から声をかけられたり、無理やり乗せられるような事件や、子供を狙った許しがたい凶悪犯罪が相次いでおり、保護者の方から、夜遅くなること心配であるという声も多い。我が市で唯一の高校である伊奈高校からも、利便性の上からコミュニティバスを利用したいという要望書が出されているが、コミュニティバス・行政バスを利用した通学体制の確保について、どのように考えているか、市の見解をお伺いしたい。

●**総務部長** 11月26日に地域公共交通会議を行って、新ルートについて



コミュニティバス「みらい号」

ては、まだ検討中である。また、コミュニティバスの利用については、この時間帯に小学生が42、43人利用しており、定員をオーバーしてしまう。なお、行政バスについては、管理規定に基づき運用しているが、過密に運行している状況のため、スクールバスとしての利用は難しいと考える。

(掲載以外の質問事項)
☆ **児童手当支給終了期間について**



少子化対策と子育て支援について

染谷 礼子 議員

●**染谷議員** 物価上昇が続ぎ、一番打撃を受けているのは家庭である。生活を守る取り組みとして3点伺いたい。国は、少子化対策と経済対策に、妊産婦の無料健診を基礎健診の14回に拡充することを決めた。本市の基準計画は、今後どうするのか。また、妊娠中や出産時のトラブルを防ぐため、妊婦健診の重要性の周知について伺いたい。次に、インフルエンザの流行期に犠牲となるのは、免疫力の低い高齢者と免疫力の無い子供連である。また、子供の多い家庭には経済的負担となっており、予防接種

の助成をすべきではないのか。最後に、障害のある子供連を支援する特別支援教育支援員が、文科省で義務化された。市内の児童数の多い学校で、特別支援学級が増えた場合の支援員配置の対応とその決定時期について伺いたい。

●**市長** 母子の命と健康を守ることは、市の母子保健事業の目的であり、出産、子育てを支援する上でも、経済的負担を軽減する妊婦健診の公費負担の拡充には大きな意味がある。当市では、里帰り先での健診についても助成を行っているが、今回国で検討されている妊婦健診の14回の助成の拡充についても、国の動向を踏まえ検討して参りたい。

●**保健福祉部長** 妊婦健診の重要性の周知については、母子手帳の交付の際に保健師が説明し、受診の勧奨を行っている。なお、インフルエンザの助成については、国の予防接種に関する検討会において、小児への接種には有効性に限界があると

示唆されており、現時点での公費助成は難しいものと考えるが、各方面からの情報等を収集しながら検討して参りたい。

●**教育長** 現在、介助員も含め、要望のある学校すべてに特別支援教育支援員を配置しており、来年度についても、各学校からの要望を取りまとめている。また、年度途中の希望にも、その都度対応している。

(掲載以外の質問事項)

☆ **ごみ減量化と収集業務について**

第3次ごみ処理施設建設について

川上 文子 議員

●**川上議員** 9月に取手・守谷市議会は、「入札適正化法に反する」「ガス化溶融炉の安全性が確保されない」「建設費、維持管理費が大変高い」と第3次ごみ処理施設決定をやり直すことを求める意見書を採択した。常総市議会も「キルン式についての再調査」などを求め、実に4構成団体中3団体の議会から意見書が出された。更に、建設地の地元住民から「建設用地の選定も含めて白紙に戻していただきたい」という陳情も出された。計画は、関係市議会と住民の合意に至っていないことは明らかだ。当初計画に固執し強行すれば、今後のごみ行政と組合運営に歴史的な禍根を残す。CM方式など、しかるべき専門家を入れた再調査を、市長の意見として求めていくことを要望する。



稼働中の「第2次ゴミ処理施設」(守谷市野木崎)

ダイオキシン等の環境問題に対応するため、溶融方式を採用することで、関係市長が粘り強く地元説明をし、合意を得たものである。なお、方式の再検討については、12月24日に開催の常総広域議会・全員協議会において協議予定である。

(掲載以外の質問事項)

☆ **児童がいる世帯に対し資格証明書の発行をしないよう求める**

☆ **空き地の草刈について**



第4期介護保険事業計画について

古川 よし枝 議員

●古川議員 介護保険は来年4月、保険料など3回目の改定が行われる。前回の保険料は、伊奈地区では44%、谷和原地区では75.4%も引き上げた。その結果、改定初年度は保険給付費の7.9%の伸びに対して、保険料は61.6%の増になり、19年度介護保険会計は約1億円の赤字と9千900万円の基金、20年度決算では、基金を合わせると約2億円の赤字が見込まれる。つまり、前回の保険料は、保険給付費に対して値上げが大きいすぎたと思う。今回は

基金等を生かし、保険料の値上げをしないよう求める。そして、保険料設定と同時に、4段階区分以上の課税層の細分化、低所得層へ保険料・利用料の減免制度の創設を求めるとか。

●市長 第4期介護保険事業計画については、現在策定中である。保険料については、事業計画策定委員会の審議をいただいてから決定するというスケジュールを進めて参りたい。

●保健福祉部長 保険料の設定については、今後3年間の高齢者人口や、要介護、要支援の増加率、及び介護サービスの給付費の伸び率など総合的に推測して算出するが、積み立てられた介護給付費準備基金を、第4期事業計画の中で財源として繰り入れ、保険料の値上げを極力軽減したい。なお、減免制度については、同事業計画を策定するに当たり、検討しているところである。

(掲載以外の質問事項)

☆ 伊奈・谷和原丘陵部

一体型特定土地区画整理事業について

☆ 「福祉灯油」の実施を求める

アスベスト被害と防止対応策について

山崎 貞美 議員

●山崎議員 アスベストは、太さが数ミクロン以下の非常に細かい繊維状の鉱物で、吸い込むと肺ガンや中皮腫等の健康障害を起こし、20年、30年経ってから症状が出る恐ろしい物体である。国が使用実態調査に10億円

を計上し、3ヶ年計画で全額補助を打ち出したが、本市の調査は、どのようなサンプリングが行われたのか。米国では早くからこの問題に取り組んでいるため、分析調査機関のスキルや信頼性が高いが、日本の調査基準は、欧米諸国に比べ大変低いと思われる。国から補助が出るのだから、再度検査の見直しをし、グレードの高い検査会社に依頼をすべきではないのか。契约会社の見直しを求める。

●総務部長 現在、JIS法で定められた6項目についての調査を行っているが、調査委託業務を契約した業者は、実績のある優れた会社であり、市としては、引き続きお願いする考えである。なお、補助制度はアスベストが検出された場合に適応されるもので、対処は結果を待って行いたい。

●教育長 調査については、(株)三菱化学アナリテックという専門機関に依頼をしている。

討論

請願第4号
ミニマムアクセス米の輸入停止を求める請願

* 豊島議員から反対討論がありました。
* 古川議員から賛成討論がありました。

請願第8号
常総地方広域市町村圏事務組合が建設を予定しているキルン式ガス溶融施設に対する請願

* 古川議員から賛成討論がありました。
* 山崎議員から反対討論がありました。

会議録の公開について

本会議の会議録は、ホームページや市立図書館及び議会事務局でご覧いただけます。なお、最新の会議録の公開開始は、各定例会終了から3ヵ月後となります。



小中学生のみなさんが議会を見学!!

つくばみらい市立伊奈東中学校（沼尻校長）の3年生、東小学校（成島校長）6年生、豊小学校（小林校長）6年生、小張小学校（木村校長）6年生のみなさんが、議会の一般質問を傍聴しました。

感想文をお寄せ頂きましたので、その一部をご紹介します。

なお、市議会では、21世紀を担う子供達に小中学生の時代から議会に興味を持っていただき、市民にとってより一層身近で親しみやすい議会を目指す取り組みを今年度より開始し、市内小中学校単位での本会議傍聴を促進しています。

東小 6年1組 やまざき ひでき
山崎 秀喜さん

市議会を見学して

ぼくは、市議会というものに、あまり興味がありませんでした。でも、今回の見学で分かったこともたくさんあり、興味を持ちました。それは、ぼくらが普通にすごせるのは、市議会で話し合っているから、ということです。インフルエンザの予防せしゅができたり、学校へ通えたりできるのも、議会で話し合ってくれているからなんだ、と分かりました。また、少子化の問題やゴミの分別など、問題になっていることや話題になっていることも、議会で話し合っていることが分かりました。これからも、みんなで話し合っ、いろいろな問題を解決して、つくばみらい市がもっと良い所になってくれたら良いです。



東小学校6年1組のみなさん



小張小学校6年1組のみなさん

小張小 6年1組 やまぐち なつき
山口 夏紀さん

市議会を見学して

私は、初めて市議会を見て、とても政治に興味を持ちました。私は、とくに、市議会でびっくりした事は、質問している人や市長さん、議員さんが、とともしんげんに聞いている事です。質問している人も、一生けんめい市長さんに質問しているところが、すごかったです。また、今度行った時は、何について話し合っているのか、どのように答えているのかも分かるようになりたいです。

豊小 6年1組 ^{もり}森 ^{ゆうき}有希さん

市議会を見学して

市議会を見学するのは初めてでしたが、ニュースで見る国会のようでした。議員さんの質問の内容は、少し難しかったけど、私たち市民のくらしが少しでも良くなるために、集めた税金の使い道を真剣に考えてくれているのがよくわかりました。これからも、つくばみらい市がもっとよくなるように、いろいろなことを話し合い決めていってほしいと思いました。



豊小学校6年1組のみなさん

伊奈東中 3年1組 ^{おがわ}小川 あゆみさん

市議会を見学して

今回、私は初めて市議会を傍聴しました。市議会を傍聴してみて、たくさんの議員さん達が市民の為に会議を開いてくれていることがわかりました。一般質問の時、質問者は答弁者に要点を分かりやすく質問し、答弁者は質問者・他の議員さんに分かる様に例えを挙げたりして、私達でも分かる様な説明をしていました。その他にも質問に対して議員さん同士で話し合って答弁している姿を見ました。その姿を見て、議員さん達はお互いに力を合わせて私達の為に頑張ってくれているんだな、と思いました。私は、今回つくばみらい市の市民として議会を傍聴できて良かったです。議員さん達には、これからも市民の為に頑張してほしいです。

伊奈東中 3年2組 ^{かわだ}川田 ^{まい}舞さん

市議会を見学して

私は初めて議会というものを見ました。何度かテレビでは見た事があるのですが、興味が無かったのでチャンネルをすぐに変えてしまったり、ニュースでちょっと見たりして「こんなことしてるんだ。」くらいでした。でも、実際に見てみると、すごく重い空気がただよっていて、とてもきんちょうしました。議会の話し合いでは、市民や私達の未来を考えてくれていて嬉しく思いました。また、これから先の教育など市民の考えている事など話し合いできめている姿は、やはり市民に選ばれただけあるな、と感じました。これから先、私達が大人になったら、きちんと選挙に参加して、より良いつくばみらい市を作っていってほしいと思いました。



伊奈東中学校3年3組のみなさん

伊奈東中 3年3組 ^{みうら}三浦 ^{ようこ}容子さん

市議会を見学して

私がつくばみらい市の市議会を見学して、まず第一に思ったことは、まず、議員さんたちの1人1人が、つくばみらい市をより良くしようと頑張ってくれているんだなと、会議を見ていて思いました。ある議員さんは、自分の意見をはっきりと、より分かりやすく言い、聞いていてとても分かりやすかったです。質問に答える人も、とても的確な受け答えをしていたので、話の流れがよく分かりやすかったです。また、ある議員さんのお話は、私たちの気を引くような、おもしろい話し方をしていたので、話の内容が分かりやすかったです。私たち市民のことを考えて、お仕事をしてくれている議員さん1人1人に感謝して、生活していきたいと思いました。



市議会を傍聴しませんか!!

議会は、特別な場合を除き、だれでも傍聴することができます。

◎傍聴の手続き

傍聴は、先着順で傍聴券に住所、氏名、年齢をご記入していただくだけで、傍聴席（定員50人）に入場できます。なお、常任委員会等の傍聴席は、定員5人となっています。

◎傍聴場所

つくばみらい市の議会は、谷和原庁舎3階です。

◎第4回定例会 傍聴者数 延べ214人（内小中学生184人）

掲載写真募集!

あなたの写真を議会だよりに掲載しませんか？
詳しくは、議会事務局にお問い合わせ下さい。

会期日程のお知らせ

平成21年第1回定例会は、次のとおり開催される予定です。

月日	曜日	会議	内 容
3月3日	火	本会議	開会、一般質問
3月4日	水		一般質問
3月5日	木		一般質問、議案の委員会付託
3月6日	金	常任委員会	総務常任委員会、教育民生常任委員会
3月9日	月		経済常任委員会
3月11日	水	特別委員会	予算特別委員会
3月12日	木		
3月13日	金	本会議	委員長報告、質疑、討論、採決、閉会
3月17日	火		

日程等については変更になる場合があります。なお、会期日程については、議会運営委員会（通常は開会日の7日前に開催）で協議され、定例会初日の本会議で決定されますので、事前に議会事務局までお問い合わせ下さい。

議会TV放映中

議会開会中、伊奈庁舎及び谷和原庁舎のロビーに設置してあるテレビで、本会議の様子を生中継しています。
視聴していただければ幸いです。



編集・後記

師走定例会には、市内の小中学生が多数傍聴に来てくださいました。終始、真剣に学習されている姿がたいへん印象的でした。少しでも議論の中身を理解していただき、今後さらに関心を持っていただければ有り難く思います。そして、将来のつくばみらい市を担う青少年に、常に郷土愛と希望を与えられる議会でありたいと感じています。

さて、アメリカ発の金融危機が9月以来世界経済に打撃を与え、100年に1度と言われる恐慌に突入しています。特に貿易立国である日本、そして企業にとつては円高に伴いたいへん厳しい経済、経営状況です。また、労働雇用についても現実に死活問題にまで直面し、今後社会保障制度並びに財政への影響もさらに厳しさが想定されます。「自立する地域社会の構築」を目指し、市民、行政、議会の開かれた協働参画が強く望まれます。

議会広報特別委員会
副委員長 秋田政夫

◎ご意見ご感想をお寄せください◎

『議会だより』についてのご意見・ご感想をお寄せください。今後の本紙編集の参考にさせていただきます。また、議会についてのご意見等ありましたら併せてお聞かせください。

〒300-2492 つくばみらい市加藤237番地 つくばみらい市役所 議会事務局まで
☎58-2111 FAX20-5760 Eメール gikai01@city.tsukubamirai.lg.jp